

領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「規範理論と経験分析の対話」
- ◆研究テーマ:「地域に資する再生可能エネルギー事業開発をめぐる持続性学の構築」

研究期間:H26.10~H29.9
委託費総額:11,400千円

<研究代表者>

西城戸 誠:法政大学人間環境学部/教授



<専門分野>
環境社会学・地域社会学・社会運動論

<研究目的・概要>

・再生可能エネルギーの開発事業の非持続性、地域の福利厚生不在課題という存在



探索的な問題設定と、定性/定量調査による非線形的な現象理解により、個々の学問領域のフレームの転換を含むモデルの構築

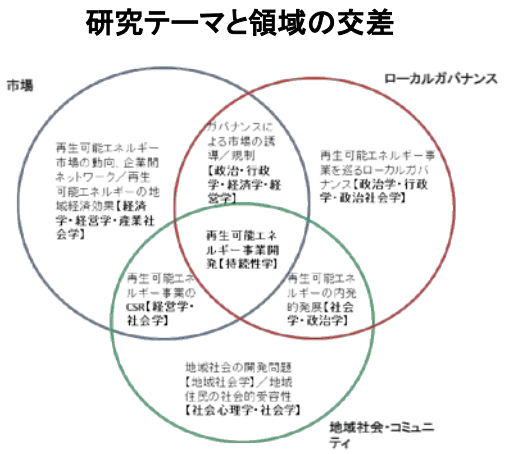
- ・(1)コミュニティパワーの事業運営、(2)地域社会・住民の「社会的受容性」(3)市場や企業間ネットワークの動向、(4)再生可能エネルギー事業への誘導/規制に関するローカルガバナンスの調査の実施



地域に資する再生可能エネルギーの事業開発をめぐる「持続性学」の創成を目指す。

<研究計画の特徴>

- ・4つの観点と2つの方法論(定量的研究-定性的研究)、国際比較という視点
- ・調査知見の命題化から規範/倫理を抽出、応用可能な社会的実装を行う。



<目標とする研究成果>

(1)地域に資する再生可能エネルギー事業(コミュニティパワー)が持続可能な開発/地域に根差した内発的发展として機能する条件を明らかにする。

(2)地域に資する再生可能エネルギーを巡る規範や倫理を確立し、それを踏まえた具体的な実践や政策への反映、人文学・社会科学の新たな展開としての「持続性学」の一端を担う。